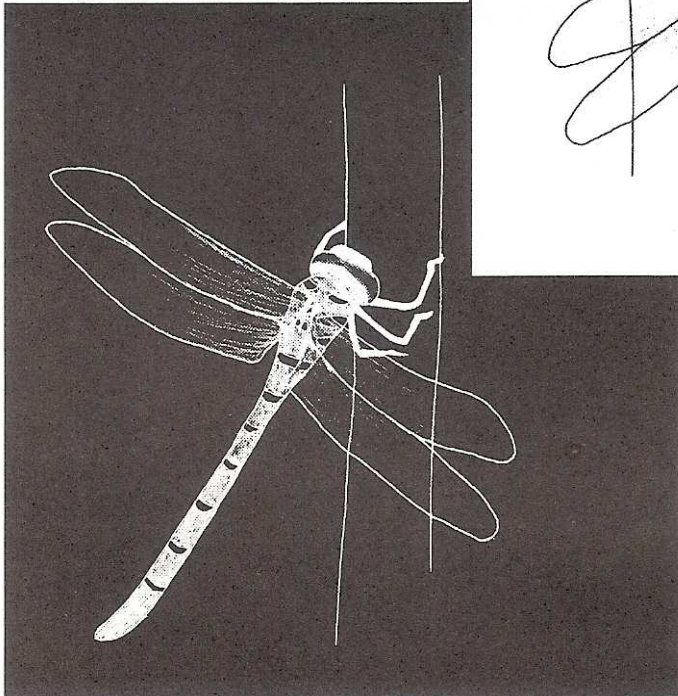
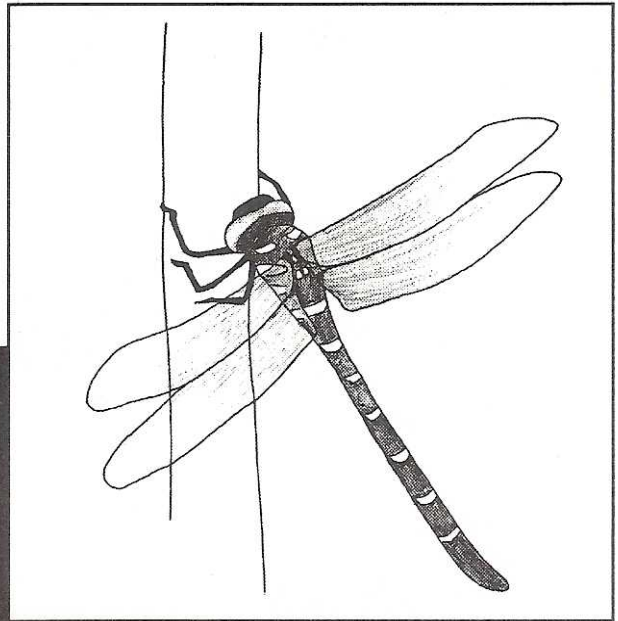


# 翔

百万石蝶談会 No.169

August 2004



## ツルガシワからアサギマダラの卵と幼虫を観察

松井正人

石川県内では、これまでオオカモメヅルとイケマが、アサギマダラの食草として確認されていたが、今回新たにツルガシワから、卵と幼虫を観察したので報告する。

ツルガシワは、いずれの場所でも多数株が群生しているため、ツルガシワの生育地が見付ければ、卵や幼虫は見付かったが、調査株当たりの卵や幼虫の見付かる頻度は、オオカモメヅルやイケマと同様で、アサギマダラは、これら3種の食草を同程度に利用していると思われる。

2004年6月26日	金沢市畠尾	2卵17幼(ツルガシワ)	松井正人
2004年6月27日	金沢市菊水	2幼(ツルガシワ)	松井正人
2004年6月13日	石川郡河内村板尾	5卵6幼(ツルガシワ)	松井正人
2004年6月13日	石川郡鳥越村杖川	10卵2幼(ツルガシワ)	松井正人
2004年6月13日	小松市大日川ダム	1幼(ツルガシワ)	松井正人



初齢幼虫の円形食痕が付いたツルガシワ(2004年6月13日 石川郡河内村板尾)



ツルガシワを食べる初齢幼虫と円形食痕(2004年6月13日 石川郡鳥越村杖川)



茎をかじる終齢幼虫とツルガシワの花(2004年6月27日 金沢市菊水)

ツルガシワからの幼虫の発見は、福田(1991)のツクシガシワ(ツルガシワとは変種関係)の写真を見たときからの計画だったが、石川県内のツルガシワは希少種で、ツルガシワの観察さえもできない状態だった。今回、「能登の山を歩く会」の林 二良氏に、ツルガシワの生育地をご教示いただいたことにより、ようやく念願が叶った。貴重な植物であるにも関わらず、快く生育地をご教示いただいた氏に厚くお礼申し上げる。

《参考文献》

福田晴夫(1991)アサギマダラの季節的移動. インセクタリウム(336):4-13.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

## 石川県輪島市および鳳至郡柳田村での2003年の蝶の記録から

日吉芳朗・日吉南賀子

## ■クロアゲハ

2003年、屋外で採集した1♂1♀の尾状突起が、他の個体のそれに比べて太いずんぐり型であり、♀では赤斑の発達が良かった。輪島市に於いて、これらに類似した個体を飼育によって無尾型個体と共に得ている（日吉、2003）ので、これらは無尾型個体の兄弟の可能性はある。

2003年8月 2日 輪島市鉢伏山 1♂ 日吉芳朗

2003年9月12日 鳳至郡柳田村合鹿 1♀ 日吉芳朗

## ■スジボソヤマキチョウ

スジボソヤマキチョウは最近の観察例が減っているが、柳田村の旧合鹿小学校周辺で、2002年に続き、その姿を見ることができた。また、柳田村久田でも2♂を目撃することができた。

2003年9月27日 鳳至郡柳田村合鹿 3♂1♀ 日吉芳朗

2003年9月29日 鳳至郡柳田村合鹿 4♂ 日吉芳朗

2003年9月29日 鳳至郡柳田村久田 2♂目撃 日吉芳朗

## ■ゼフィルス

輪島市で観察されているゼフィルスは、ウラキンシジミ、アカシジミ、ミズイロオナガシジミ、ミドリシジミ、オオミドリシジミ、エゾミドリシジミ、ジョウザンミドリシジミの7種であるが、いずれも観察数は少ない。2003年、輪島市三井町地内でオオミドリシジミとアカシジミを採集・目撃した。

オオミドリシジミ 2003年 7月6日 輪島市三井与呂見坂田 1♀ 日吉芳朗

アカシジミ 2003年6月21日 輪島市三井与呂見坂田 2♀2頭目撃 日吉南賀子

アカシジミ 2003年 7月6日 輪島市三井与呂見坂田 1♂1♀1頭目撃 日吉芳朗

## ■ツマグロヒョウモン

1998年から2000年にかけて、輪島市でかなりの数の発生をみたツマグロヒョウモンも2001年には激減し、2002年には1頭の個体すら目撃することなく終わった。ところが2003年は、輪島市中段町（日吉・他2名、2004a）や、鳳至郡柳田村久田（日吉・他2名、2004b）で観察し、輪島市宝立山でも目撃することができた。宝立山の個体は、オトコエシで吸蜜していたもので、いたって新鮮であったことから、同地で発生した可能性も考えられる。なお、かつて多数観察された高洲山と気勝山では、その姿を見ることはなかった。

2003年9月2日 輪島市宝立山 2♂目撃 日吉芳朗

## ■アサギマダラ

舳倉島でアサギマダラが採集されている。民宿の店先へ入ってきたものが捕虫され、民宿の主人によって筆者宅へ郵送されたもので、2003年に於ける島での唯一の採集記録と思われる。

2003年6月22日 輪島市舳倉島 1♂ 早瀬 勇

柳田村でのアサギマダラの記録は、鉢伏山周辺に限られていたが、旧合鹿小学校周辺で、滑空しているのを目撃した。

2003年9月28日 鳳至郡柳田村合鹿 1頭目撃 日吉南賀子

輪島市石休場町の標高110m付近で、11月にアサギマダラを採集した。天気は快晴であったが、気温は16℃と低かった。人家のそばにある畑のキクで吸蜜していたもので、腹部は飽満状態であった。筆者らにとって、アサギマダラのキクでの吸蜜は初見であり、11月に本種を観察したのも初めてである。

2003年11月18日 輪島市石休場 1♀ 日吉南賀子

## 《参考文献》

日吉芳朗 (2003) 輪島市でクロアゲハ無尾型を得たいきさつ. 翔 (160) : 1-4.

日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗 (2004a) 石川県輪島市内の注目すべき観察地での採集・観察記録. 翔 (167) : 3-5.

日吉芳朗・日吉南賀子・日吉宏朗 (2004b) 石川県鳳至郡柳田村での蝶の追加記録種. 翔 (168) : 6.

《ひよし よしろう・ひよし ながこ 〒928-0001輪島市河井町1部64-1》

## 街にも進出、黄と黒の王者

浅地 哲也

オニヤンマは、アカトンボと並んで私達にとって最もポピュラーなトンボ。飛翔力は大きく、どこからともなくフラリと街中にやってきて、建物の中にもオジャマするものもいる。大きさは日本のトンボでは最大級で、その姿には畏敬の念すら覚える。幼虫の棲み家は、成虫の飛翔の雄姿とは裏腹に実に慎ましかで、田んぼの脇の細い用水などが主な生息場所。飛んでいる成虫は、間違いなく空の王者。



《あさじ てつや 921-8021 金沢市御影町26-7》

## 住宅地の孤立林でエゾミドリシジミとウラキンシジミを観察

大 脇 淳

住宅地に取り残された孤立林で、エゾミドリシジミとウラキンシジミを観察したので報告する。

### ■エゾミドリシジミ

2004年6月6日 石川県金沢市錦町（標高約90m） 1♂採集 大脇 淳

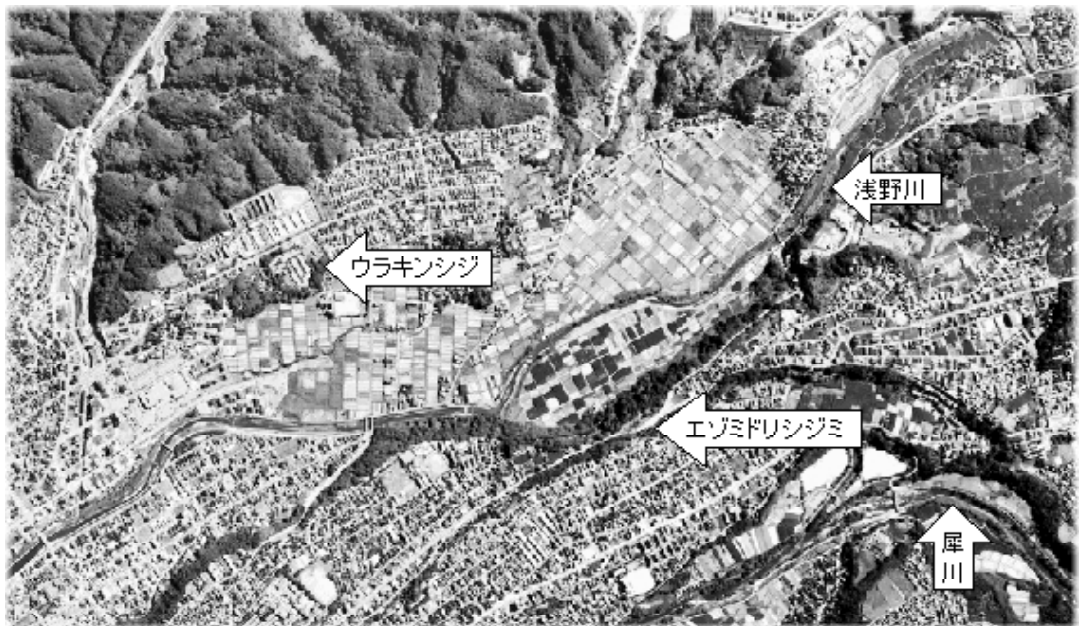
金沢市内を流れる犀川、浅野川の両河川は、河岸段丘を発達させ、河岸段丘崖は急斜面であったことにより、比較的良好な緑地帯として保存されている。この緑地帯は、幅15～20mの緑の回廊となって、白山から連なる山々から金沢の中心金沢城まで、市街地の中を続いている。

エゾミドリシジミを採集した場所は、この緑の回廊のコナラ・アベマキ林だが、この二次林は、更に竹林と杉林で分断されていた。金沢の都市部において、孤立したコナラ・アベマキ林にエゾミドリシジミが発生しているとは、夢にも思わなかった。

### ■ウラキンシジミ

2004年6月6日 石川県金沢市若松町若松病院（標高約70m） 1♂目撃 大脇 淳

病院構内のマルバアオダモで、ウラキンシジミを観察した。マルバアオダモは、高さ7～8m程で、ウラキンシジミは、地上2mの高さの葉上に静止していた。ここは、病院構内にある0.4ha程度の孤立林で、近くの里山林からは約200mほど離れている。病院構内の大きなアオダモは、この1本だけだと思われるので、この木で発生している可能性が高い。



《おおわき あつし 〒920-0942 金沢市小立野1-23-20》

## キイロサナエの記録とヤマサナエとの棲み分けについて

浅地 哲也

キイロサナエは石川県のレッド・データブックでは絶滅危惧種 I 類に指定されており、ここしばらく本種の確認例がなかったが、近年県中部を中心に確認の報告が続いている(浅地、2003)(武藤、2004)。筆者は、志賀町で本種の幼虫を観察したので報告する。

2004年4月24日 石川県羽咋郡志賀町坪野 菱根川 10幼虫 浅地哲也

志賀町田原の田原川における本種とヤマサナエの棲み分けについては、既に報告しているが(浅地、2003)、この地でも本種とヤマサナエの棲み分けが観察された。隣接する志賀町甘田と坪野の町界には堰堤があり、これより上流の甘田では集中的に本種を探索したがヤマサナエの幼虫ばかりが見られ、より下流の坪野の本種幼虫と棲み分けているのが観察された。

しかし、甘田から坪野へと菱根川は水田地帯を緩やかに流れ、成虫の活動範囲はほぼ重なり、筆者には環境の違い、成虫の産卵域の違いが感じられず、なぜ両種の棲み分けが起こるのか、その条件を特定するに至っていない。

なお、ヤマサナエの見られた甘田では、コシボソヤンマ、コオニヤンマ、コヤマトンボが確認できたが、坪野ではコオニヤンマ、コヤマトンボがほとんど見られなかったことも併記しておく。

志賀町甘田		堰堤	志賀町坪野		
菱根川	~~~~~		~~~~~		→ 流れ
キイロサナエ	いない		キイロサナエ	優占	
ヤマサナエ	普通		ヤマサナエ	偶産	
コシボソヤンマ	普通		コシボソヤンマ	普通	
コオニヤンマ	普通		コオニヤンマ	少ない	
コヤマトンボ	普通		コヤマトンボ	少ない	

## 《 参考文献 》

浅地哲也 (2003) 比較的記録の少ないサナエトンボ科の記録. とっくりばち(70):13-14.

石川県 (2000) 石川県の絶滅のおそれのある野生生物<動物編>. 155pp.

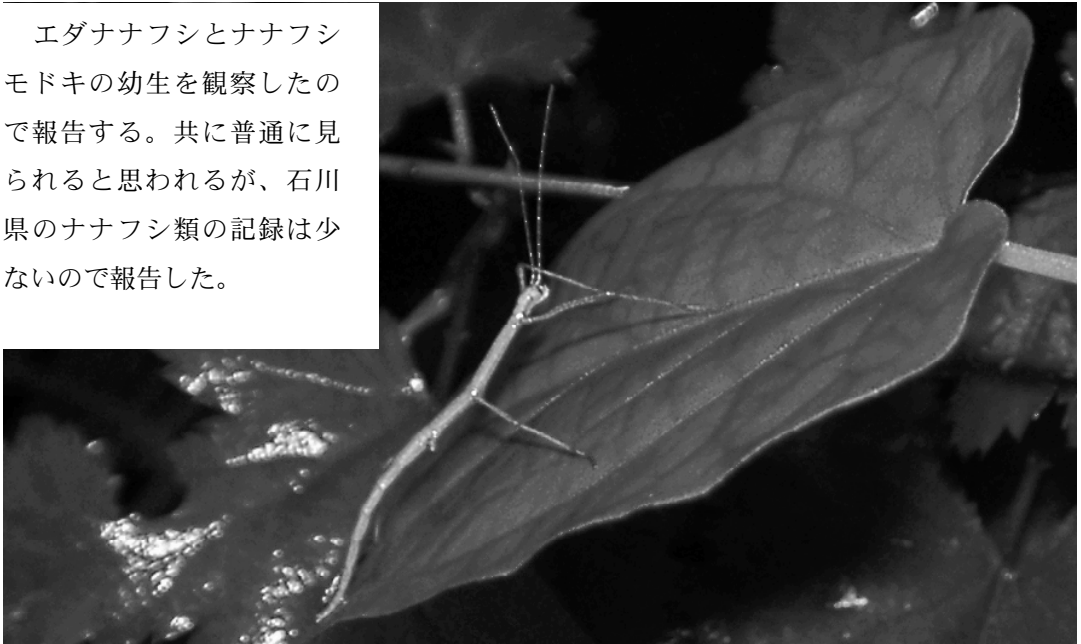
武藤 明 (2004) 2003年度の石川および近県のトンボ資料. とっくりばち(71):1-5.

《あさじ てつや 921-8021 金沢市御影町 2 6 - 7》

## エダナナフシとナナフシモドキを観察

松井正人

エダナナフシとナナフシモドキの幼生を観察したので報告する。共に普通に見られると思われるが、石川県のナナフシ類の記録は少ないので報告した。



エダナナフシ 2004年6月12日 金沢市住吉 1頭 松井正人



ナナフシモドキ 2004年5月2日 加賀市瀬越 1頭 松井正人

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》



## たくさん産むのもしょうがない

小 幡 英 典



クルマハムシとカメノコテントウ(2003年5月28日 石川郡鳥越村鷺走谷)

産卵前のハムシの雌は、ほとんど球に近い形状になるので画面一杯に撮るとピントがあっていないような、あがりになってしまう。この時は近くに卵があり、引いて撮るにはよかろうと、卵と交尾個体と背景の空とのバランスを考えたり、風に翻弄されたりしながらもたもたしていたら、カメノコテントウがひよこひよこやってきて卵を食べ始めた。

いつもは、もたもたしていてシャッターチャンス逃すのに、ごく稀にこんなこともあったりする。宝くじと同じで、フィールドに出ないと出くわさない。はたして、これは何等ぐらいなのだろう。

《おばた ひでのり 〒804-0074  
北九州市戸畑区南鳥旗町2-7-401》

た。と、同園のHPに手の平と虫が掲載されている。

### 五月末の浜辺でアサギが乱舞

五月中頃から浜辺のスナビキソウにアサギが飛来し始め、五月末にピークを迎えた。海岸線の長い石川県、加賀市から輪島市にかけて、一週間に二百頭程が観察された。

### クロコムラサキの季節

六月の声を聞くと、奥能登クロコムラサキが始まるようで、便りが届きました。おいしい話ばかりで、まだまだ能登のクロコムラは健在だ。

### フジミドリはいつ飛ぶか

医王山も有名になったようで、稜線にはフジ狙いの長竿が林立し、おそれをなしたフジは、顔を見せないとか。おしとやかな彼女は、いつたい誰の前に姿を現すのだろう。

### 蝶類年鑑2004発行

お休みしていた蝶類年鑑、三年間のブランクを経て戻っ

てきた。二〇〇三年に発行された日本産蝶類に関係する報文とデータが掲載されているが、間違いが多そう。

### 舳倉島は今回も空振り

民宿の観察ノートや分校の先生の話によれば、島にはたくさんのアサギが飛来するらしい。ところが、二〇〇〇年から何度通ったか分からない日吉氏は、未だに島でアサギに出会えない。

### トゲナナフシの長寿記録

野外では晩秋まで見られ、飼育下では四月下旬まで生き延びるとされるトゲナナ、浅地氏の厚い飼育で、長寿記録を更新していたが、六月十七日天寿をまつとうした。

### 馬の背にネット林立すれど

ウィークデー何処吹く風と、医王山は連日長竿ラッシュが続いている。しかし、ゼフが居ない。フジどころか、アイノ、エゾ、ウラミスジなどなど、話にならない大不作。

### 尾状突起の無い黒いアゲハ

二〇〇一年に江沼郡山中町で採集されたナガサキアゲハ、追加報告が続々登場かと期待していたが、後が全く続かない。今年も暑くなりそうだが、続報は有るだろうか。

### 例会の記録

六月三日(木)城南管工一階にて、午後八時から開催。

主題は、生田省悟氏による石川県内のウスバサイシン食のギフチョウ。県内各地のウスバサイシン生育地と調査結果、更には「石川県白山のふもと」で撮影されたとされる「ウスバサイシンにうみつけられたギフチョウの卵」の写真などが報告された。

その他の話題は、海岸にアサギマダラが乱舞、クロイワニイニイは今が旬、久慈氏の重大発表、百円均一の標本箱、オオルリオサのメインカラーは黒、舳倉島でアマサギがつかむ虫、などなど。

参加は、中西、浅地、細沼、

生田省、生田耕、久慈、池田、松井、高田、山岸、指田、吉村、黒川(新入会員)、富沢(電話参加)の十四人。

### 例会の記録

七月一日(木)城南管工一階にて、午後八時から開催。

主題は、中西氏によるタマムシ採集法。ある程度の大きさがあり、綺麗どころで希少価値が有る種として、サビナガボソ、アオマダラ、クロマダラ、エサキキンヘリ、アオタマ、アカヘリ、ヤノコモン等をあげ、過去の採集記を交えて、楽しく語った。

その他の話題は、クロシジミの季節、アサマシジミ似のハクサンシジミ、医王山馬の背の主、台風に見舞われた対馬行、マスタクロホシが採れた、クロマダラを狙え、檜枝岐へ明日出発などなど。

参加は、中西、細沼、松井、浅地、久慈、井村、富沢(電話参加)の七人。

【表紙デザイン：小幡英典】  
【表紙イラスト：坂原 圭】

# 会員の動き・しゃばの動き

「富山県のトンボ」が発行  
種毎の分布、生活史、形態、  
生態に付いての知見が盛り込  
まれ、石川県内の知見につい  
ても触れている。二橋亮・  
他三名の共著で、富山市科学  
文化センターから発行され  
た。千円はお買い得。

フタオ会の昆虫年鑑2004  
昨年度に続き、フタオ会か  
ら「昆虫関連団体雑誌年鑑」  
が発行された。二〇〇三年に  
発行された定期刊行物を扱  
い、紹介文献を入手し易いよ  
うにと、発行団体のメールア  
ドレスやホームページアドレ  
スも掲載されている。

e-mail: futao@ybb.ne.jp

ネクイハムシの絵解き検索  
日本産ネクイハムシ亜科の  
同定が絵解きのできる優れも

の。いくつかの種について  
は♂交尾器の検討が必要とな  
るが、ほとんどは実体顕微鏡  
の観察で同定可能。ホシザキ  
グリーン財団研究報告七号  
(二〇〇四)に掲載されている。

百円ショップの標本箱  
百均のお店に、携帯用標本  
箱に手頃な箱が並んでいる。  
葉書がちょうど入るインロー  
型の桐箱で、ペフ板を貼り付  
けると標本箱に大変身。

能登のコジヤノメを捜せ  
コジヤノメって、普通種で  
何処にでも居ると思いきや、  
奥能登の記録が無い。保育社  
の生態図鑑では、ヒメジャは  
居ても、コジヤは居ないこと  
になっている。コジヤは何処  
まで分布するのか、ヒメジャ  
と見分けて報告してほしい。

能登のヒメクロサナエはでかい  
浅地氏、富来町でデカイヒ  
メクロサナエを採集。顔面黄  
斑もあり、北大の本の内容とは  
逆になっているので、サンプ  
ルを集めて傾向を調べるとか。

輪島コンビは沖縄採集旅行  
日吉・石畑の両氏は、十七  
日から一週間の予定で沖縄に  
向かった。石垣と与那国での  
採集計画を立てているが、台  
風の進路が気がかりとか。

五・二十三湿地帯で採集会  
石川むしの会は、トンボ類、  
ジョウカイ類、その他春の虫  
を狙って、金沢市薬師町の湿  
地帯で採集会を行った。ヒラ  
サナエ多数が観察され、アサ  
ギマダラも飛来した。

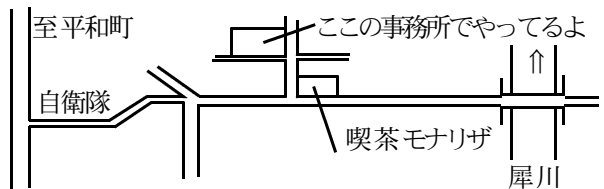
サピナガボソがHPに登場  
医王の里をウロウロする変  
なおじさん、日がな一日ヤマ  
ボウシを眺めている。聞けば、  
虫を採っているとかで、手の  
平の小さな虫を見せてくれ

## 翔 169号

Tobu 2004年8月10日発行  
百万石蝶談会

http://homepage3.nifty.com/100man/  
金沢市大場町東871-15 松井方  
☎920-3121 ☎076-258-2727  
郵便振替 00750-8-562  
印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から  
TEL参加もOKです (076-244-3318)



## 目 次 (169号)

松井正人：ツルガシワからアサギマダラの卵と幼虫を観察	1
日吉芳朗・日吉南賀子： 石川県輪島市および鳳至郡柳田村での2003年の蝶の記録から	3
浅地哲也：街にも進出、黄と黒の王者	4
大脇 淳：住宅地の孤立林でエゾミドリシジミとウラキンシジミを観察	5
浅地哲也：キイロサナエの記録とヤマサナエとの棲み分けについて	6
松井正人：エダナナフシとナナフシモドキを観察	7
小幡英典：たくさん産むのもしょうがない	8
編集部：会員の動き・しゃばの動き	10